

第 10 回 建設業経理士・財務分析

〔第 1 問〕

解答

解答にあたっては、指定した字数以内（句読点を含む）で記入すること。

実数分析とは、財務諸表に示されている数値を実数ないし絶対数のまま分析する方法であり、絶対分析ともいう。☆☆ その一方法である増減分析は、1 企業における 2 期間以上の財務諸表の各項目を比較してその増減を分析し、さらにその増減の原因を明らかにすることをいう。☆☆ 具体的には、複数期間の損益計算書を比較形式で対象表示した比較損益計算書を作成して 1 企業の複数期間の利益を比較し、そこから増減原因を実数で分析するための表である利益増減分析表を作成し、利益増減分析を行う。☆☆

利益増減分析表は、利益の額が各損益項目の変化によって受けた影響、つまり、経営成績の変動原因がどこにあるかが示されるので、比較損益計算書では明確ではない最終的な利益増減の影響を知ることができ、将来の収益性の改善に有用な情報を入手することができる。☆☆

このような期間比較の方法は、様々な数値相互間の関係を表す比率による分析も効果的であるが、企業活動の実態を把握するために実数による分析を行うことも必要であり、さらに増減分析をすることで企業活動の動的な状態を把握することができる。☆☆

予想採点基準
☆…2 点×10=20 点

〔第 2 問〕

解答

記号（ア～ホ）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
サ	ネ	チ	エ	セ	フ	イ	カ	シ	ア
★★	★	★	★★	★	★	★	★	★	★

11	12	13
ナ	コ	ヘ
★	★	★

予想採点基準
★…1 点×15=15 点

〔第3問〕

解答

(A) ☆

	3	5	0	0	0
--	---	---	---	---	---

 百万円 (百万円未満を切り捨て)

(B) ☆

	6	6	0	6	0
--	---	---	---	---	---

 百万円 (同 上)

(C) ☆

	2	5	0	0	0
--	---	---	---	---	---

 百万円 (同 上)

(D) ☆

			3	0	0
--	--	--	---	---	---

 百万円 (同 上)

固定資産回転率 ☆

2	.	6	8
---	---	---	---

 回 (小数点第3位を四捨五入し、第2位まで記入)

予想採点基準 ☆…3点×5=15点

〔第4問〕

解答

問1 ★ 円

6	4	0	0	0	0	0
---	---	---	---	---	---	---

 (円未満を切り捨て)

問2 ★

4	7
---	---

 % (小数点以下を四捨五入)

問3 ★

1	7	1
---	---	---

 % (同 上)

問4 ★ 円

		4	4	0	0	0
--	--	---	---	---	---	---

 (円未満を切り捨て)

予想採点基準 ★…5点×4=20点

〔第5問〕

解答

問1

A 総資本事業利益率 ☆

	2	6	7
--	---	---	---

 % (小数点第3位を四捨五入し、第2位まで記入)

B 経営資本営業利益率 ☆

	2	8	8
--	---	---	---

 % (同 上)

C 完成工事高キャッシュ・フロー率 ☆

	2	2	3
--	---	---	---

 % (同 上)

D 当座比率 ☆

1	3	2	8	6
---	---	---	---	---

 % (同 上)

E 運転資本保有月数 ☆

	1	7	8
--	---	---	---

 月 (同 上)

F 借入金依存度 ☆

	1	8	6	9
--	---	---	---	---

 % (同 上) ※別解 20.27 %

G 有利子負債月商倍率 ☆

	1	9	5
--	---	---	---

 月 (同 上)

H 純支払利息比率 ☆

	0	1	9
--	---	---	---

 % (同 上)

I 支払勘定回転率 ☆

	3	5	1
--	---	---	---

 回 (同 上)

J 付加価値率 ☆

	2	9	8	7
--	---	---	---	---

 % (同 上)

問2

記号(ア～モ)

	1	2	3	4	5	6
(1)	ウ	ト	カ	ソ	へ	シ
	★	★	★	★	★	★

	7	8	9
(2)	タ	セ	ハ
	★	★	☆

予想採点基準

☆…2点×11=22点
★…1点×8=8点